

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立馬込東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1学年は、表やグラフから地理的な情報を読み取ることができるようになった。
- ・2学年は、ICTを活用した学習で、資料の読み取りや内容をまとめる思考・判断・表現力がついた。
- ・3学年は、表やグラフから考察して情報を引き出す力がついてきた。

(2) 課題

- ・1学年は、基礎・基本的な知識のさらなる定着を図り、資料を活用する力を向上させる。
- ・2学年は、学習した知識が定着できるよう、反復学習を効果的に取り入れる。
- ・3学年は、多角的に資料を読み取れるようにし、今までの復習を行う。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

| | 令和6年度結果 | 令和5年度結果 | 令和4年度結果 |
|------|--|--|---|
| 第1学年 | 目標値に比べ、約1ポイント低い数値となった。特に、思考・判断・表現は目標値に比べ、約4ポイント低い数値となった。今後に不安を残さないために、思考・判断・表現を身につけることが喫緊の課題である。 | | |
| 第2学年 | 目標値を若干下回る数値となった。歴史分野においては、目標値を上回るも、地理分野において、世界の諸地域に関する知識の定着に課題が見受けられた。 | 目標値に比べ、約3ポイント高い数値が表れている。すべての観点において目標を達成しており、基本的な学習内容を身につけることができている。(第1学年時) | |
| 第3学年 | 目標値に比べ、地理分野の数値が極端に低くなっている。しっかり復習することが求められる。学習意欲は高いので、基本的な知識や応用力の定着を図りたい。 | 目標値に比べ、約1ポイント低い数値となった。思考・判断・表現は目標値を達成するも、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度に課題が見られる。(第2学年時) | 知識・技能では目標値を上回り、基本的な語句の定着がみられる。一方、懸念されていた思考・判断・表現の達成率も一定の数値の達成は見られる。今後不安を残さないように、応用力をつけていくことが喫緊の課題といえる。(第1学年時) |

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 基礎的・基本的な用語の習得と定着、都道府県名や都道府県庁所在地名の定着に課題が見られる生徒が多い。また、歴史の大まかな流れと人物と業績についてしっかり定着が図られていない箇所も多く見受けられる。 | 複数の資料から読み取る思考問題について、考察し表現する力が弱いところが見受けられる。今後資料からの読み取り問題に対応できる力を身につける必要がある。 | 宿題やノート作成のポイントを理解し、学習活動に取り組む姿勢が見受けられる。授業中に学習した内容を整理し、より主体的に取り組める学習課題に取り組む。 |

② 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 知識の定着に課題が見られるところがある。特に、世界の諸地域に関する内容に苦手意識があり、学習した基本的な用語が定着できるような学習活動が求められる。 | 資料(表やグラフ)の読み取りや、思考を伴う問題について、答えを導く力がついてきた。今後、複雑な応用問題にも対応できる力を身につけていく必要がある。 | 学習意欲は比較的高く、授業に主体的に臨む姿勢が見受けられる。授業中に学習した内容を整理し、より発展的な学習課題に取り組む。 |

③ 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 基本的な用語の習得に苦勞する生徒が比較的多い。また、これまでに学習した内容の中で重要語句の取りこぼしやしっかりと定着が図られていない箇所も多く見受けられる。 | 基本的に表やグラフの問題に答える素地はもっている。しかし、複雑な資料の読み取りや思考を伴う問題ではミスが目立つ。 | 授業中の口頭試問にはよく取り組んでいる。また、宿題やノート作成もポイントを理解し、それに沿った学習活動が臨めるようになってきている。 |

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 基礎・基本的な用語の習得と重要語句の定着できるような授業が求められる。また、毎時間の授業で前時の復習や単元テストによる知識の定着を確認していく。 | 写真資料だけではなく、表やグラフなどを活用し、読み取り、それを表現する力を身に付けさせていく。また、授業内で資料の読み取りと表現する学習活動を行い、思考力を身につけさせていく。 | 毎授業に知識を確認する問題を取り入れていく。また、ICTを活用した学習活動を積極的に取り入れ、主体的に取り組めるようにする。今後も生徒が楽しいと思える授業づくり、授業展開に邁進する。 |

(2) 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 基本的な用語が定着し、発展的な問題の解答が導けるよう、毎時間の復習や単元テストを効果的に取り入れる反復学習を行っていく。また、分野ごとではなく、地理・歴史と分野をまたいで関連付けながら知識をつなげていく。 | 資料を活用し、表現する力を継続して高めていく。そのために、ICTを活用し、他者との意見共有を即時実施していくことで、思考の幅を広げ、多角的な思考力を身につけさせていく。 | 毎授業に1回以上の効果的なICTを活用した学習活動を取り入れ、学習意欲をより高めていく。また、重要なポイントやノートの取り方を身に付けられるよう、学習の個別指導化を継続して図っていく。 |

(3) 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 基本的な用語の習得や重要語句をしっかりと定着させる授業が求められる。そのためには、口頭試問や単元テストを通して知識の幅を広げていくことが今後も求められる。 | 資料活用に多くの時間を割いて、表やグラフの問題に慣れさせる。また、良質な資料問題や思考力を養う問題を精選し、授業に活用していく。 | 授業中の口頭試問は今後も継続していく。また、宿題やノート作成についても多面的に評価していく。引き続き、生徒が楽しいと思える授業の展開に腐心する。 |